

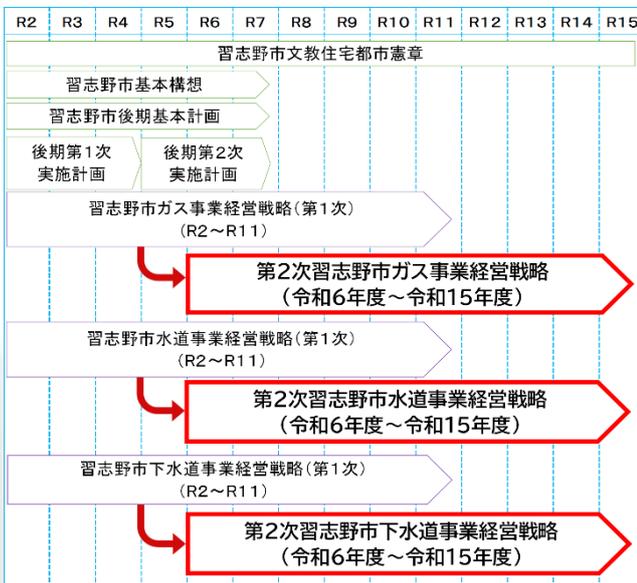
## 改定の趣旨

習志野市企業局では、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までを計画期間とする、ガス・水道・下水道の各事業の「経営戦略（第1次）」に基づき、現在まで、安全・安心なガス・水道水の安定供給、公衆衛生・生活環境の向上及び健全経営に努めてきました。経営戦略（第1次）策定から4年が経過した中で、GX（グリーン・トランスフォーメーション）やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進といった社会的要請の高まり、物価高騰、円安など、様々な社会情勢、経営環境が変化しています。

そこで、経営戦略（第1次）の取組状況を踏まえつつ、時代に即した内容や経営健全化のための取組など質を高めていくための見直しを行い、新たな計画期間となるガス事業・水道事業・下水道事業の第2次経営戦略を策定したものです。

## 計画の位置付けと期間

第2次経営戦略は、習志野市のまちづくりの基本理念を定めた「習志野市文教住宅都市憲章」の下、基本構想、基本計画及び実施計画に基づき策定しており、ガス、水道、下水道各事業の最上位計画として位置付けています。  
計画期間：令和6（2024）年度から令和15（2033）年度まで（10年間）



## 基本理念

人口減少社会の到来、脱炭素社会への挑戦など劇的な社会環境の変化の渦の中で、お客さまが快適で安心して暮らすことのできる社会を支え続けるべく、第2次経営戦略における基本理念を定めました。

【基本理念】  
「ガス・水道・下水道を通じて  
このまちの暮らしを支え  
未来へつなぐ」

## 主な取組

### ▼ガス事業

- ・ガス本支管の耐震化：令和14年度までに耐震化率100%を目指します。
- ・ガス整圧器の統廃合：経営健全化の取組として地区整圧器48か所（88基）⇒38か所（76基）へ削減を目指します。

### ▼水道事業

- ・水道管の耐震化：令和11年度までに重要給水施設への水道管の耐震適合率100%、令和26年度までに基幹管路の耐震適合率100%を目指します。
- ・施設の統廃合：経営健全化の取組として第3給水場を廃止するほか、第1給水場の浄水施設と第2給水場の浄水施設の統合を目指します。
- ・料金改定の検討：持続可能な健全経営を図ることを目的として、耐震化などの財源を確保するため、計画期間において2段階の料金改定（値上げ）を検討します。

### ▼下水道事業

- ・汚水処理の広域化：津田沼浄化センターの汚水処理機能を千葉県花見川第二終末処理場へ統合することについて、千葉県や関係市町と協議、調整します。

### ▼共通

- ・開閉栓オンライン受付：令和6年度から、開閉栓オンライン受付の本稼働を目指します。
- ・ペーパーレス化の推進：令和9年度までに、検針票のオンラインサービス導入を目指します。
- ・局舎更新：令和11年度までに、老朽化している企業局舎の更新を目指します。